

Three-Minutes Silence... A New Dialogue
Japan-Netherlands
between Human Being, Nature and Technology
Contemporary

Art Exchange Exhibition

アネッケ・A・デ・ブーア【Anneke A. de Boer】

アネット・ファン・デ・エルゼン【Anet van de Elzen】

クリスティアーン・ズワニッケン【Christiaan Zwanikken】

ヘルマン・デ・フリース【Herman de Vries】

パウル・バンハウゼン【Paul Panhuysen】

ロブ・モーネン【Rob Moonen】

有坂右一+曾岡徹【Soichi Arichi + Takashi Sasaoka】

佐藤時彦【Tokihiko Sato】

小杉英穂子+安藤泰彦【Hihoko Kosugi + Yasuniko Ando】

沢田南園【Goji Hanada】

水沼周二【Shuji Mizutome】



ICAAE・ヘット・アポロハウス共同企画
technology arts · installations · performances · sound arts · photographs
人・自然・テクノロジーの新たな対話

3分間の沈黙のために

会場 十思スクエア3階 入場無料
東京都中央区日本橋小伝馬町5-1
会期中間・合わせ先 Tel.070-5675-7855

期間 2001年4月15日(日)~5月6日(日)
開催期間中無休

閉場時間 11:00~19:00

文通 常 地下鉄日比谷線小伝馬町駅下車、春本町方面出口
JR総武線新日本橋駅下車、小伝馬町方面出口
※会場には駐車場がございませんので、お車での来場はご遠慮ください。

主催 ICAEE 国際現代美術交流実行委員会

後援 中央区、毎日オランダ大使館、日蘭学会、朝日新聞社

協賛 トヨタ自動車株式会社、東京電力株式会社、株式会社ウィークリーマンション東京、有限会社YOMOGI

協成 ボーク美術振興財団、洋王芸術・科学財団、東京国際文化財団、朝日新聞文化財団

Stichting Noordhollands Fonds voor Beeldende Kunstenaars、Geneente Tilburg

協力 双葉電子工業株式会社、巴版印刷株式会社、三菱電機株式会社、キリンビール株式会社、株式会社マスカガミ、東京デザイナー学院、キンコーズジャパン株式会社

企画・制作 ICAEE/キョウラー・サージ、ヘット・アポロハウス

1995年-96年、ICAEEとヘット・アポロハウスは、日本 オランダ現代美術交流展「Now/here」(オランダ展)、根の回復として用意された12の環境。(日本展)を共同開催しました。芸術の自明性の不在と新たな役割をテーマにしたオランダ展、「テクノロジーと身体性の共生による根の回復」を指した日本展は、共に「芸術の現在」を祝うものとして好評を博しました。

その成果を基に企画された本展は、現代社会に生きる人間の知覚と身体性の回復と、うテーマをさらに振り下げながら、人-自然-テクノロジーの関わりとは何かを見つめなおそうというものです。

電子メディアやテクノロジーの急速な進化は、コミュニケーションに新たな可能性を提供しています。しかし、その中において私たちは、消費的な言葉の喧騒や、過剰なイメージの氾濫に息苦しさを感ずるは、ないでしょうか。コミュニケーションはいまや、知覚・感覚を介しての「実感」から情報の「伝播」へと、その質とスタイルを急速に転換しつつあるようです。

こうしたアイロニカルな状況に対して私たちは、「根の回復」という前回のテーマからさらに一歩、深いところへ降り立つことの重要性を感じています。「根の回復」から(沈黙)に、進む精神の深化の過程を通じ、身体の内なる広がりを獲得すること—作品の背後! 芸術作品が創り出す(沈黙)を感じとも体験は、ひとつの「実感」を呼び覚まします。そのような場の実現に向けて、日本 オランダ、気鋭の11組のアーティストが集います。

会場には、コンピュ タなどのテクノロジーを介した、従来の美術のジャンルを脱構築する作品群や、インスタレーションと身体が相互干渉を繰り返すパフォーマンスが展開されます。嗅覚、光、身体、サウンドが織り出す作品空間のなかで、観客は、視覚と聴覚が融合する時間と空間を体験するでしょう。人-自然-テクノロジーの新たな関係性は、五感、感情、身体性をともなったコミュニケーションなくしては、見出すことができないものです。芸術家のまなざしを通して、喧騒に充ちた都市のただなかに知覚と感覚の本源としての(沈黙)を喚起させる本企画は、私たちの「現在」をはっきりと浮かび上がらせてでしょう。

パウル パンハウゼン
Paul Panhuysen
[Singing in the Rain 2003]



ヘルマン・デ・フリース
Herman de Vries
after a dry summer 1983

アネック ア デ ブーア
Anette A de Boer
help 1996



浜田剛則 Goji Yamada
Social Function and Art Function,
Message of Pom-Balancing upon
an eternal Nowest 1995



アネット ファン デ エルゼン
Anet van de Elzen
Time is black 1993



クリスティアーン スワンニッケン
Christiaan Zwanikken
Tender Touch nr 21 1994



佐藤時啓 Tokihiro Sato
光ノ明暗 Akasaka 1996



有地左志一+笹岡俊
[Soichi Arichi+Takashi Sasaka
REFLEX 1996]



ロブ モーネン Rob Moonen
Permanent Light 1997



水留周二 Shuji Mizutome
Discussion 1999



小杉美穂子+安藤孝彦
[Hitoko Kushi+Yasuhiko Ando
ベトナム 1996]



ボブ・アライヨシタカ
Arai Yoshitaka
祝祭 21 1994

3 分間の沈黙のために

Three Minutes Silence A New Dialogue
between Human Being Nature and Technology

関連イベント

- 制作公開 4月11日(水) 4:00pm~6:00pm
 オープン ノブ パーティ 4月15日(日) 6:00pm~8:30pm 体育館
 アーティスト シンポジウム 4月21日(土) 3:00pm 体育館
 「芸術とコミュニケーション」
 パネラー パウル パンハウゼン 浜田剛則、水留周二ほか
 司会 酒井裕

パフォーマンス公演

- 4月22日(日)
3:00pm~ パウル パンハウゼン
4:30pm~ アネット ファン デ エルゼン
 - 4月28日(土)
3:00pm~ 武井よしみら+Blue Ball Company [I wish you were here]
 - 5月5日(土)
3:00pm~ 武井よしみら+Blue Ball Company [I wish you were here]
 - 5月6日(日)
3:00pm~5:00pm 浜田剛則 「見ることへの自由 Looking freedom」
- ワークショップ
 4月21日(土)~5月6日(日)の各土日 4:00pm 5:00pm
 佐藤時啓 | キシャ カメラ

会場のご案内

- 常陸川下段目次多福
小仏馬車下車
志木方南口徒歩3分
- 1日 祝 祝
新日本橋駅下車
小仏馬車南口徒歩5分



- 会館中会場内へおかけし Tel.070-5875-7855
本会場は駐車場がごさ、1せんで、お車での来場はご遠慮ください。
- お問い合わせは ICAEE事務局 キヤリラー サービス
東京都千代田区新町2-7-13 遠近ビル9F
TEL 03 3861 2581 FAX 03-3861 2582
URL: http://www.catnet.ne.jp/sarge/
Email: surge@catnet.ne.jp